

平成 29 年度 施策評価表

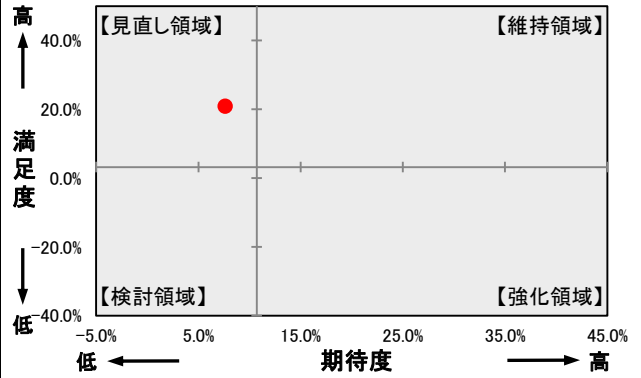
住民意識調査結果

施策No. 8

1. <施策の概要>

記入日 平成 30 年 8 月 27 日

政 策	【I】豊かな未来にいのちが輝くまちづくり
基本 施策	【3】生き生きと暮らせる健康のまちづくり
施 策 名	①健康づくり事業の充実
施 策 の 基本方針	生涯にわたり健康で生き生きと暮らせるように、壮年期の死亡を減少させ健康寿命を延伸させます。また、健康づくり・介護予防サポーターを核として、町民主体による自主的な健康づくりの活動が地域で展開され、町全体に広がるように推進し、町民が元気で健康なまちを実現します。
評価者職氏名	参事 小泉喜弘
関係 課	主担当課 長寿福祉課



	当該施策の値	施策中順位	平均値
満 足 度	20.9%	8/40	3.20%
期 待 度	7.6%	27/40	10.70%

2. <施策の現状分析>

施策の概況	<p>住民意識調査やニーズを踏まえた、施策の現状と課題</p> <p>生活習慣やライフスタイルの変化により、生活習慣病が増加傾向にあります。生活習慣病の早期発見・早期治療につなげるための各種健診の受診や日常的な運動など、町民の健康づくりに対する意識を高めていくことが重要です。特に、高齢者については、要介護にならないための予防が必要であり、主体的に健康づくりに取り組めるよう、「健康づくり・介護予防サポーター講座」など各種講座も開催しています。</p> <p>(課題)</p> <p>生活習慣病を予防するため、健診の受診率を向上させる必要があります。</p>	<p>社会環境や国・県の動向など施策を取巻く状況</p> <p><国></p> <p>「健康日本21(第2次)(H25~34)」健康寿命の延伸と健康格差の縮小の実現。主要な生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底。社会生活を営むために必要な機能の維持・向上。健康を支え、守るための社会環境の整備。等</p> <p><県></p> <p>「なら健康長寿基本計画(H25~34)」健康指標の科学的な観察評価に基づく、保健・医療・福祉・介護の総合的な推進により、10年後の県民健康寿命の日本一達成を目指しています。</p>
-------	---	---

3. <役割分担の適切性>

No	役 割 分 担	進捗度	改善に向けた方針
1	個人でできること 自分の健康は自分で守る。定期的に健康診査やがん検診を受診する。	b. やや遅れている	引き続き住民主体の取組が進むよう啓発活動を進める。また、検診についても受診しやすい環境づくりを進める。
2	地域でできること (町内会・自治会レベル)	b. やや遅れている	
3	地域でできること (自治協議会レベル)	b. やや遅れている	
4	行政が担うこと	a. 順調である	

4-1. <指標の設定>

指 標 名	単 位	年度	現状値 (H26)	後期基本計画期間						他団体比較 (ベンチマーク)		
				H27	H28	H29	H30	H31	H32			
1 大腸・胃・肺がん検診受診率	%	目 標	大腸	17.5	21.0	21.3	21.6	22.0	50.0	H28(40-69才)吉野町29% 奈良県 21.6% 下市町 27.6%		
		実 績	17.3	17.2	18							
	%	目 標	胃	9.3	11.5	11.8	12.1	12.4	50.0		H28(40-69才)吉野町28.1% 奈良県 13.8% 下市町 25.9%	
		実 績	8.9	8.8	9							
	%	目 標	肺	12.6	14.0	14.5	15.0	15.5	50.0			H28(40-69才)吉野町23.8% 奈良県 11.8% 下市町 22.7%
		実 績	12.4	15.0	13							
2 県内の健康寿命の順位	位	目 標	男性20 女性23	男性37 女性36	男23/女21	男20/女18	男17/女15	男13/女性12	10位以内	【H27】65歳平均自立期間(吉野町)男性16.29年、女性19.46年(奈良県)男性18.20年、女性20.08年		
実 績												
3 健康づくり・介護予防サポーター数	人	目 標	53	44	25	45	45	50	全大宇1名以上			
		実 績			33	36						

4-2. <指標から読み取れる成果と課題>

【資料2-1】

がん検診の受診率をみると、胃・肺・大腸がん検診は横ばい状況です。年齢別にみると50歳代の受診率（胃18.2%・肺22.5% 27-29平均）が低く、この世代の受診率向上が課題です。がん検診の実施方法は、集団検診と肺を除く個別検診も実施しています。集団検診では、特定健診と胃・肺・大腸・肝炎ウイルス・歯科健診を同日に実施しています。がん検診受診率向上のため啓発活動を健康づくり・介護予防サポーターと共に実施しています。又、検診の受診勧奨案内文（国がんセンターの開発物）をターゲットとする年代に的をあて送付しています。健康づくり・介護予防サポーターによる健康づくりを展開しており、住民が主体的に健康づくりに取り組む機運や意識が向上し、健康的に日常生活を実践していく住民が増えています。2回目のサポーター養成講座を実施しましたが、修了者のすべてがサポーター活動を継続できていません。年齢層が70歳代が最も多く、若年層も含めて多世代の健康づくりを展開していくことがこれからの課題でなっています。

5. <施策全体の方針>

住民自ら主体的に健康づくりに取り組めるよう、健康づくり・介護予防サポーターの活動の環境整備を行います。サポーター活動が働き盛り層へも波及し、継続し、より多くの核となる人材が増えていくように60歳代後半の住民へ働きかけます。

6. <施策を構成する事業の成果と課題（全体／主な取り組み）>

No	主な取組内容		疾病予防対策を充実・強化します。	
1	成果	がん検診については、肺検診以外の個別健診の実施、胃がん健診のABC健診を実施していますが、受診率は、横ばい状態です。	課題	健診受診率は、横ばい傾向にあります。特に受診率の低い傾向にある若年層に対し、節目の無料健診を行っていますが、さほど受診率は上がっていません。
	次年度及び中長期的な今後の方針		健康づくり・介護予防サポーターの協力を得ながら住民主体の健康づくりを展開し、検診受診率の向上を図ります。	
2	主な取組内容		健康づくり・介護予防サポーターが地域で活動し、健康づくりに対する気運を醸成します。	
	成果	サポーター養成講座修了者と話し合い、育成講座を実施しました。修了者により、「いきいきクラブ」を発足し、健康づくり事業に取り組んでいます。2回目の養成講座も実施しました。	課題	住民の方々の健康づくりの気運を高め、自らが健康管理について行動に移すことができるようにする。又、養成講座修了者が継続的に活動できるようにしていく。
次年度及び中長期的な今後の方針		住民自ら主体的に健康に対するの関心を高めるため、その原動力となる健康づくり・介護予防サポーターを2年周期（1年目養成・2年目育成）で養成し、1地区1人以上配置できるように取り組みを進めます。特に60歳代後半の住民への働きかけを強化します。		
3	主な取組内容		予防接種の助成事業を推進します。	
	成果	水ぼうそうと中3生のインフルエンザのワクチンについて全額助成、その他のワクチンについては、一部助成し、予防接種を受けやすい環境を整え、定着化しました。	課題	乳児対象の予防接種の種類や回数が増え、集団接種での調整が困難になっています。個別接種を軸とした接種体制を整えていく必要があります。
次年度及び中長期的な今後の方針		南和の医療の再編成に伴い、町内の小児科医の確保が難しくなるため安全面を考慮し保健センターでの集団接種の規模が縮小しました。個別接種への移行を目指し、実施医療機関との調整を行います。		
4	主な取組内容			
	成果		課題	
次年度及び中長期的な今後の方針				
5	主な取組内容			
	成果		課題	
次年度及び中長期的な今後の方針				
6	主な取組内容			
	成果		課題	
次年度及び中長期的な今後の方針				

7. <施策を構成する事業>

金額：単位（千円）

事業NO.	主な取組NO.	事業名 ／担当課等／会計 【転記】	経費区分	事務事業評価【転記】				施策評価												
				H28 (決算)	H29 (決算)	H30 (現予算)	総合評価	重点化	H31年度方針		短期的		中期的		補足事項 (優先度の考え方、各事務事業の方向性)					
				予算	予算	予算			方向性	予算	人件費	予算	人件費							
51	1	保健衛生総務事業 長寿福祉課 一般	直接事業費	2,068	1,900	1,573	B 課題が少しあり業務の一部見直しが必要	D	成果・費用とも維持 ≡ 現状維持	1,998	→	→	→	→	☆予防接種・健康診査事業 短期的には、現状を維持していく。中期的には、住民ニーズ・課題・効果を検証し見直しを検討すること。 ☆健康診査事業（がん検診） 受診勧奨やPR活動に力を入れ、健診受診率アップを行っていくこと。 ☆健康教育・相談事業 2年周期で住民主導の健康づくり・介護予防サポーターを育成し、健康づくりの活動の核となるサポーターを養成し、住民自らが健康づくりに取り組める体制を構築していくこと。					
			関与人件費	634	2,811	2,811				2,811						2,863	→	→	→	→
			うち一般財源	2,702	4,711	4,384				4,809						4,034	→	↑	↑	→
52	-	健やか一番館管理事業 長寿福祉課 一般	直接事業費	2,831	2,650	2,863	A 業務の内容は適切である	D	成果・費用とも維持 ≡ 現状維持	2,863	→	↑	↑	→						
			関与人件費	634	1,171	1,171				1,171						4,034	→	↑	↑	→
			うち一般財源	3,465	3,821	4,034				4,034						→	↓	↓	↓	
53	3	予防接種事業 長寿福祉課 一般	直接事業費	14,183	13,665	14,826	B 課題が少しあり業務の一部見直しが必要	E	成果維持・費用縮小 ≡ 効率性の向上	13,076	→	↓	↓	↓						
			関与人件費	4,593	6,246	5,466				4,685						17,471	→	↓	↓	↓
			うち一般財源	18,339	19,480	20,002				17,471						→	↓	↓	↓	
54	1	健康診査事業 長寿福祉課 一般	直接事業費	7,092	7,569	7,644	B 課題が少しあり業務の一部見直しが必要	◎	成果向上・費用維持 ≡ 生産性向上	7,644	→	↓	→	→						
			関与人件費	5,622	7,652	6,637				6,637						13,031	→	↓	→	→
			うち一般財源	11,857	14,070	13,031				13,031						→	↑	→	→	
55	2	健康教育・健康相談事業 長寿福祉課 一般	直接事業費	269	288	279	B 課題が少しあり業務の一部見直しが必要	B	成果向上・費用維持 ≡ 生産性向上	359	→	↑	→	→						
			関与人件費	6,098	5,075	6,012				6,012						6,132	→	↑	→	→
			うち一般財源	6,197	5,188	6,127				6,132						→	↑	→	→	
			直接事業費																	
			関与人件費																	
			うち一般財源																	
			直接事業費																	
			関与人件費																	
			うち一般財源																	
			直接事業費																	
			関与人件費																	
			うち一般財源																	
			直接事業費																	
			関与人件費																	
			うち一般財源																	
			直接事業費																	
			関与人件費																	
			うち一般財源																	
			直接事業費																	
			関与人件費																	
			うち一般財源																	
			直接事業費																	
			関与人件費																	
			うち一般財源																	
施策コスト 合計			直接事業費 ①	26,443	26,072	27,185				25,940										
			関与人件費 ②	17,581	22,955	22,097				21,316										
			総費用 ③(①+②)	44,024	49,027	49,282				47,256										
			うち一般財源	42,560	47,270	47,578				45,477										
			関与人数(人)	2.22	2.90	2.79				2.69										